音気のあきる中やシパス

ます。「稽古」を『広辞苑』で調 にしえ)を稽え今に照す」と読み の序文にある言葉ですが、「古(い 鮮やかに「稽古照今」。『古事記』

学問の本義は あ h

國學院大學北海道短期大学部 学長 田

さに気づき、行動を起こしていた 千三百年も前に、そのことの大切 れています。 のです。 マルクの言葉ですが、日本人は に学ぶ」は、ドイツの名宰相ビス 愚者は経験に学び、賢者は歴史

の残された色紙があります。墨痕

本学第二代学長の故西岡弘博士

今に照す」

なってきます。 からは、今に照らすことが大切に いて古を紐解いてきました。これ 諸君は、この二年間、 本学にお

浄く、明るく、正しく、直く」

のような目的を持って編纂された

見出す」の意です。古事記は、こ

「過去に学んで、今の世の指針を

こと」。つまり、「稽古照今」は、 べると、「昔の物事を考え調べる

ちの考え方や生き方を古に探り現

武術・芸道にとどまらず、私た

在に生かすことは大切なことです

る中で、あるべき心の姿を示す言 直は、「まことの心」として、 葉に「浄明正直」があります。「浄 でしょう。卒業生諸君に、 本人が最も大切にしてきたひとつ いほど自明のことです。浄明と正 に出てきます。解説する必要がな 千三百年前の『続日本紀』、宣命 葉を送りました。 ところで、私たちは日常生活す 明るく、正しく、直く」です この言 日

日本の心を大切にしたい 民族が歩んできた歴史の道 たった一度の人生 日本人の感性が育んだ文化 一度とない人生だから 「浄く、明るく、正しく、直く」

事はすべてです」

と答えました。

「それは誰にでもわかっている当

本学で懸命に学んで、それぞれ

は服加減の良いように。

これで秘

ように、炭は湯のわくように、茶

「夏は涼しいように、冬は暖かい

「茶の湯の心得、極意を承りたい」

と問われて、

茶道にこんな逸話があります。

そこには、日本人の知恵が凝縮さ その道をおおらかに歩んでいこう 浄く、明るく、正しく、直く 胸を張って歩いてゆこう 苦しい時も悲しい時も 古典と校歌が示す格調高い道 日本人が大切にしてきた道がある 怒らず、恐れず、悲しまず



のでしょうか。そのよりどころと なる荀子の言葉があります。 私たちは何のために学問をする

聞く、見る、知るの努力の大切 しかし、学問は、実践すること

なのです。人は、不屈の精神と決 が最終の目的です。行えば明らか さは論を持ちません。 断力によって行う努力を重ねて、 自分自身を磨いてゆくことができ

か難しいものです。 いても、いざ実行となるとなかな なたの弟子になりましょう」 利休はこう答えます。 然のことです」 当たり前のことと頭では考えて 「そのことができるなら、私はあ 不服そうに語る弟子に対して、 一層励

文京町三丁目1番1号 TEL 0125-

発 行 國 學 院 大 學 北海道短期大学部

〒073-0014 北海道滝川市

所

弘 んでほしいと思います。 己を律して、これからも一

村



「学は、之を行うに至りて止む」

らかなり」。 るは之を知るに如かず。之を知る 聴くは之を見るに如かず。之を見 行うに至りて止む。之を行わば明 は之を行うに如かず。学はこれを 「聞かざるは聞くに如かず。之を

るものです。

新入生の皆様に

「志」を高らかに揚げて

|短期大学です。 価されています。北海道短期大学 化・宗教の分野において世界有数 の研究活動を行っている大学と評 部は、その学統を受け継ぐ唯一 國學院大學は、我国の歴史・文

どうか本学で学んだことを実践す る努力をしてください。 の目標を目指して歩んでゆく諸君、 「新幹線の父」と呼ばれる島秀

バル社会です。世界的な価値観を

諸君が活躍する時代は、グロー

持って活躍する人材となってほし

いと思います。そのための基本と

語っていた言葉を思い出します。 りも簡単だ」 雄がテレビのドキュメンタリーで きない』ということを証明するよ 「『できる』ということは、『で

界の中では根無し草です。

ません。日本人としてのアイデン

ティティをなくしてしまらと、

世

して、日本の国柄を知らねばなり

現在の自分を見れば想像がつくと いわれます。 将来の自分の姿を知りたいなら

念じています。 きた日本人の心でしょう。 これもまた、日本人が大切にして 未来も過去も現在にあるのです 卒業生諸君には、 つまり、「中今(なかいま)」 一層の活躍を

どもたちとともに「楽しい発表会」



る感受性、惻隠の情、忍耐、 節等々。日本精神は混迷する世 国柄を学んで欲しいと願って ません。日本の歴史を学び、 ると語る識者は多いのです。 界を救うために極めて有効であ す考え方、 想、柔軟で寛容な和の精神、 いいます。自然と共に生きる思 独自の文化圏を形成していると 本の文学や文化に触れ、日本の は、決して我田引水だとは思い に伝統の中に新しさを見つけ出 日本の文化は、 虫の音を音楽と捉え 世界の中でも 日 私 礼 常

このことが変えてはいけない永 続性を持つこと「不易」だと考 誇りを持って世界を舞台として す。進む道は、各々異なっても、 翔く基礎力を磨くことにありま が国や自らの住む地域に自信と 本学で学ぶ意味、それは、 総合

教基

行われました。化学の分野では

一一三番元素がニホニウムと名付

けられ、文学においてはカズオ

イシグロ氏がノーベル文学賞を受

化・多様化しています。皆さんの

でしょうか。

この「三智」を卒業

だことと一致しているのではない ます。皆さんがこの二年間で学ん 得る智がそれである」と書いてい

国内外を問わず社会は急速に変

在学中には、選挙権年齢が一八歳

に引き下げられて初めての選挙が

一にしながら活躍して下さい 後の進路で、さらにその後も大切 だったのではないかと思います。 を見ると、とても充実したもの の様子や研究発表会への取り組み ごせたでしょうか? 日々の授業

得る智、みづからの体験によって る。学んで得る智、人と交わって 短大での二年間はどのように過

島崎藤村は「人の世に三智があ

卒業おめでとう。

准教授 宮靖史

的な価値観と多角的な視野で分析 皆さんはこれらのできごとを多元 同時代人として見聞きしました。 賞するなど、歴史的なできごとを

し、考察することができたと思い

平成30年3月19日(2)



准教授

秋山晴人

さんが歩む道での大きな糧となる 得したことは、きっとこれから皆 ことでしょう。 皆さんがこの短大の二年間で習

いという人もいるかもしれません。 しく前に進んでいるのか分からな 分の道を見つけるときがきます。 て長い年月となり、いつの日か自 だ明確ではなく、自分は本当に正 しかし、毎日の積み重ねがやが

ご卒業おめでとうございます。

皆さんの中には自分の未来はま

それは突然に見つかるわけではあ

玉

文

学

科

います。 やめてしまうことだ。」とも述べて が、進歩の妨げとなるのは途中で れるかは、もちろん重要なことだ る。」という言葉があります。さら に「肝心なときにどれだけがんば まなものを生み出すことができ よってスキルが生かされ、さまざ めて才能はスキルになり、努力に 書「GRIT」には「努力によって初 アンジェラ・ダックワースの著

ています 力を大切にしながらこれからの道 生かし、自分を大切に、人とのか を歩んでいってください。 かわりを大切に、そしてやり抜く 皆さんのご活躍を心から祈念し

児童教育コース

この二年間で得たものを大いに

を踏 HL

いますが、自然豊かな滝川で自立 に多少の戸惑いがあったことと思 兀を離れ、一人暮らしをすること ます。 多くの学生の皆さんは、親 とうございます。また、保護者の 春風や闘志いだきて丘にたつ」 **厚様にも心よりお祝いを申し上げ** 卒業生の皆さん、御卒業おめで

せん。これからの社会は、 生の確かな礎となるに違いありま 験した様々なキャリアは今後の人 と言われていますが、本学で経 思います。最近は「人生百年時代」 生において有益な期間であったと むことができた2年間は、長い人

います。

の人生に幸多からんことを祈って の高浜虚子の句を贈ります。今後

いでください。卒業に当たり冒頭

仲間と学業や貴重な体験に取り組

した生活を始め、たくさんのよき



准教授 矢口元晴

次の闘いに備え、努力を怠らない 担う皆さんは、 が考えられますし、そのような豊 らは誰もがより働きがいや生きが 者が次の勝者となることを忘れな 勝者であり続けるとは限りません てください。今日の勝者が明日も かる多くの課題解決に挑戦し続け て先頭に立ち、目の前に立ちはだ かな未来であってほしいと思いま いのある社会に転換していくこと 数年以内に私たちの生活を一変す いますが、見方を変えるとこれか Iに奪われはしないかと懸念して す。多くの識者は現在の職業がA る変化が起きそうな気配がありま 技術が急速に進歩を遂げ、ここ十 います。更に人工知能などの科学 題を抱える課題先進国と言われて 化の社会であり、日本は多くの課 進展する超少子高齢化と高度情報 そのため、これからの日本を . 知恵と勇気を持っ

んでください。これからの皆さん

の活躍を期待します。

努力をし、前を向き自分らしく歩

す。失敗したら逃げず、やり直す

かなかった自分を知り、これから

行く自分の道が開かれると思いま

と思い乗り越えてみてはいかがで 時は、ポジティブ思考でチャンス ないこともあるでしょう。そんな 大きな壁を乗り越えなければなら

しょうか。その先には今まで気づ

幼児·児童教育学科 松田由理子 一講次目から五講次目までの授業 心に感じてくれたと思います。

幼児保育コース

教授

で、忍耐力・努力が身についたの いと思います。 て、 に ますが、二年間で学んだことを基 とりが人間にとって何が大切かを んとの触れ合いを通して、一人ひ 様々な地域交流で子ども達、保護 ではないでしょうか。又、実習・ いよいよ厳しい社会に飛び立ち それぞれの立場で希望を抱い おおいに活躍していただきた 高齢者そして障がい者の皆さ

攻科福祉専

攻

准教授 西原律子

人として第一歩を踏み出します いうま間に1年が過ぎました。入 長したことが伺えられます。 学時の緊張していた表情も、成し が、今まで経験したことなのない 遂げた自信のある表情に変わり成 大きな夢や希望を持ち、 入学式が昨日のようにあっと 修了おめでとうございま

園教諭・保育士資格取得のため授

ご卒業おめでとうございます。 入学してからの二年間は、幼稚

業科目が多く、特に一年次は連日

幼児・児童教育学科 総合教養学科 国文学科 卒業生・修了生数 七一名 五六名

専攻科福祉専攻 合計 一八二名

五五名

感謝の二年間



国文学科 山田貴徳

ませんが一方で住み慣れるのが早 もせず、道内でも豪雪地帯である うちにここは内陸で魚介のにおい 間一人暮らしをするのだと思って ところです。もう一年居たいと言 く、居心地がよいコタツのような いう土地は決して都会ではあり いるのだと気づきました。滝川と ことなどを知って、滝川に住んで いました。しかし生活をしていく 最初は北海道という土地で二年

一対に信じてもらえないと思いま 論文古典で書くぞ」と言っても絶 ました。過去の自分に「お前卒業 くださいました。そこから古典に きいきとした古典の世界を見せて でも古典を題材に書くことになり 浸っていき、最終的に卒業論文ま は国語の教科書の中の一カテゴリ 睛先生には感謝しています。以前 楽しさを教えてくださった月岡道 ーとしか考えていなかった私にい 学んでいく中でだんだんと意識が 識があったのですが、この短大で である私は古典を中心に学びまし かわっていきました。特に古典の は過ぎていきました。国文学科生 いくのと並行して二年の学生生活 た。私は元々古典に対して苦手意 そうやって滝川の良さを感じて

う友達も少なくありません。 応えられるようにこの先を歩んで そのことに感謝をしつつ、それに 謝したいことがいっぱいありま らだと思います。積雪や凍結の憂 は真摯に教えてくださった先生方 いけたらなと思います。 環境で学ばせていただきました。 す。この二年間は本当に恵まれた 園のお野菜をいただいたりと、感 はもちろん、生活自体をサポート す。それだけの学びがありました。 いなく過ごせたり、夏には家庭菜 していただいた大家さんがいたか そして安心して学びができたの

北海道という地 で



佐藤悠真 た状態、初めての一人暮らし、関 では私以外が全員道民という浮い ましたが、生活してみればクラス

製作やピアノ等、子どもたちが楽 いた授業のほかに、絵本や手遊び、

しめるようなことを学びます。ク

いいところ」と甘い考えをしてい ありました。入学時は「北海道は て北海道という土地は未開の地で 山ありました。そもそも私にとっ 多々ありますが、学べたことも沢

学科では、今まで学校で行って

ることが出来た二年間でもありま ておらず、親の苦労と有難さを知 んな当たり前のことさえ理解でき

ことがまだまだ実感できておらず 二年間を過ごし、卒業するという 部、また北海道の滝川という町で 良いことが出来たと思う個所も 「二年がもう過ぎたのか、早いな」 と戦々恐々しております。もっと この國學院大學北海道短期大学

> けるのか」という不安に変わりま 左もわからない状態で「やってい

した。しかし学科の先生方、素敵

べていたと思います。

この地で二年間を過ごし、学べ

との会話も増えるので自分の技量 力して行うのもそうですが、先生 ラスの人数が少ないので仲間と協

を高めることもできる充実して学

地勘もなく知り合いもおらず右も

東と比べあまりにも違う気温、土

滝川で己を見つめ直す

思があったことが最大の理由でし 環境の中勉学に励みたいという意 ということよりも、自由で開けた は、当初の目的以上のモノを私に た。しかし滝川で過ごした二年間 院大學本学への編入を目指すため 二年前私が滝川に来たのは國學

気付かせてくれました。 入に向けてしっかりと勉学に励む ことは確かにとても大切な事です。 滝川での大学生生活の中で、編 | たに自分の視野を広げることも出

の友人達との他愛のない会話や真 しいことを教えてくれるきっかけ る・見出してくれる・さらには新 の価値観や考え方を昇華させてく になります。私の場合は、同級生 但し、それだけではいけないと私 三時間真剣に議論することで、新 めなかったようなことについて二、 議論といった時間そのものが、私 面目な話、大学の講義についての それはつまり、自分のことを客 はこの二年間を通して考えを改め れましたし、私一人では気にも留 分の新しい一面に気付かせてくれ 山いてくれることに他ならず、自 観的に見てくれる存在が近くに沢 との距離が非常に近い場所です。 環境は、友人・先輩・地域の人々 ることが出来ました。滝川という

することが出来るかけがえのない を見つめ直し、互いが互いを研磨 う。

私にとってこの二年間は、

己 くことが出来たことはありません ここまで友人達と密接に関係を築 来ました。二十年間の生活の中で、 時間でした。 でしたし、普通は出来ないでしょ

話になりました。 てみてください。きっと将来の力 の過ごし方に意義を持って生活し 各人の意識に関わってきます。も になりますよ。二年間、 いるのであれば、是非以後の普段 し私の感想文に目が留まった方が 滝川での生活を生かすも殺すも、 大変お世

総合教養学科

千代尚慶



幼児・児童教育学科 児童教育コース 谷村幸一郎

う地で大学に通い、初めて

一人暮 あっという間に過ぎていきました。 度も行ったことが無い北海道とい 入学することが決まってから、一 らしをするということでかなり不 安がありましたが、その反面、多 今、 振り返ってみると二年間は

幼児・児童教育学科 幼児保育コース

行こうという前向きな気持ちにな

ないものになっています。ここで たことは自分にとってかけがえの

得たことを生かし将来につなげら

人暮らしというのも未知の体

います。

れるように頑張っていきたいと思

てきて、服が洗濯されている。そ 験です。何もしなくてもご飯が出 気持ちも変わり、この地で学んで な仲間たちと出会い、不安だった

貴重な二年間

一さ、そしてなにより子どもたちの 変さ、子どもたちと関われる楽し 教育実習では教師という立場の大 成長を見届けられる素晴らしさを は何なのかを考え苦悩しましたが、 経験することができました。 模擬授業で培った経験を教育実習 ような授業をすれば児童の興味関 色々なことを学びました。どの で生かすことが出来たと思います。 心を湧かせられるか、良い授業と が特徴です。また、実践に近い形 く、より深い学びができること であり、他学科と比べ人数が少な コースは教員を目指すための学科 で模擬授業を数多くこなすことで くの期待もありました。 さらに、せっかく北海道に住ん 幼児・児童教育学科児童教育

強や課題など学習面で大変なこと 思い出です。友人たちの存在は私 様々なところへ行ったことも良い 日の生活が充実していました。 やったり、たくさん遊んだり、 を協力しながら夜遅くまで一緒に にとってとても大きく、テスト勉 ろうということで友人たちと車で 毎

でいるのだから有名な観光地を巡 れたと思います 生にとって大きな影響を与えてく に向かい頑張っていきたいと思い ずに短大での経験を生かし、将来 と思います。感謝の気持ちを忘れ などのおかげで今の私があるのだ アパートの大家さん、地域の方々 教育実習校の先生方や子どもたち 大学の先生方をはじめ、友人たち、 出会い、そして支えられました。 ます。この貴重な二年間は私の人 この二年間ではたくさんの人に

退

者挨拶

た「空知川の岸辺」

く、定年退職を迎えた。数年前か

小説家となった独歩 その後女性とは別れ、 川と出会っている。 見する来道で、この

七年後に発表し

独歩は新婚家庭を営

-およそ九○年前に、

国木田

それからの三二年間が長いか短

で差異はない。ただし、法規・規

「停年」共に、職を辞す一定の年齢、

『広辞苑』を参照すると「定年」

むための入植地を下

かき分けて堤防から河川敷に降り らゴム長靴を拝借し、一面の雪を

に落ち着く間もなく、

大家さんか

た。

国道に挟まれた新町のアパート

近代文学の黎明となった空知川を

間近に見たかったのは儀礼であっ

まず浮かぶ。

| 従って、テイネンは停年の文字が

滝川での生活の初めに、北海道の のない暴れ川であった。それでも、 なにより当時の空知川は護岸工事 赤平側の沿岸であり、九月であり、 を記している。独歩が佇んだのは に、その「冷厳なる自然」の魅力

| 化 (老い) についての自覚はある。

ちが追い付かない肉体の経年劣 は伴わなかった。むしろ、気持 たが、正直なところなかなか実感 らテイネンを口にすることもあっ

支え合って 過ごした

一年間



専攻科福祉専攻 藤原朱音

私の専攻科福祉専攻の一年間は、

れまでは卒業と同時に取得できた 取得を目指し、進学してきました 資格でしたが、国家資格を受験し が今年度から法の改正があり、こ これまでの中でとても有意義な者 介護福祉士という専門職の資格

頑張っていたので頑張れたことが め、大変な毎日ではありましたが、んそう」が出来ていなく、先生達。 三十五期生のみなさん卒業おめ一忘れられません。 クラスメート全員が合格に向けて 専攻科入学当初は、私自身社会

に国家試験を終えることが出来ま | 識を増やしていき、一月二十八日 教え合い、時には一つの問題につ いに問題を出し合い一つ一つの知 ていきました。分からないことを いて悩んだりもしましたが、お互 だったので皆で協力し合いなおし みましたが、クラスメートも同様 のように取り組んだらいいのか悩 性がなく、今思うとまだまだ子供 で、学習の仕方や習慣もなく、ど

合格しなければならなくなったた一中で報告、連絡、相談の「ほうれ また、私を含めクラスメートの

していくと、チームでの連携や自。大変嬉しく思います。

ますが、社会人としての自覚と専 間近の今思います。 るという力がつき、入学当初に比・ 子どもたちだけではなく保護者か。など何もないところ 門職であるということ忘れずに、りました。教材教具 く、保育士として働くことになり。舎で開学準備室の仕 べると社会性が身についたと卒業。になりました。 四月から私は介護の仕事ではな。完成したばかりの校

一この一年間は忘れません。

から指導が入ったりしました。出。でとうございます。 滝川で過ごし 来なかったその時にはどうしたら。た二年間の思い出を胸に今、少し 良かったのか話し合いを行ったり。大人になった皆さんの顔が眩しく、

短大を卒業すること

昭和五十六年十月

に日々勉強しながらこれからも頑。生を迎える準備が進むなか、落成 • を伺ってきました。第一回入学式 は多くの喜びに溢れていたことが一になりました。 | 卒業生から、「学生時代に怒られ | た。」と言われ大変嬉しく、 | たけど社会人になって分かりまし 後悔も反省も数多くありますが、 | 感じながら、仕事をして来ました。| 輩が皆さんに追随します。 同窓会

学生支援課 課長

て十八期生四人の仲間と過ごした。方々の熱い思いと、沢山の苦労話 張っていきたいと思います。そし。式、開学式で本学誘致に関わった

、励み

展を心から願っています。ありが 躍をお祈りし、短大部の益々の発 で仲間との絆を繋いで下さい。

で待っています。

っている先輩が社会

です。同じ財産をも

卒業生の皆さんのご健勝とご活

とうございました。

事に携わることにな

らも信頼される存在になれるよう。からの出発でした。急ピッチで学

分から行動する、自分から発言す。

・ 私ごとですが、皆さんと一緒に | 関わる難しさ、楽しさ、戸惑いを

す。

いただいたことに感謝申し上げま と思いますが、いつも快くご協力 無理なお願いもたくさんあったか んとの関わりも多々ありました。

地域の皆様、家主協議会の皆さ

| 学生の年齢です。学生との歳の差 ありましたが、変わらないことは が開くなかで、いつも同じ世代と 三十六年の歳月は様々な変遷が

嶋 久美子

思い出は生涯の財産

友人と語った日々の

れぞれ進む道は違っ

学生の皆さん、そ

ても滝川で共に学び、

れました。一応、教育者の端くれ りて御礼申し上げます。 できました。皆様にはこの場を借 動や校内業務等に力を注ぐことが そして私は学生の方々にも恵ま

いかは置くとして、実にあっけな|則用語としては「停年」を使い、「定 する「丁」を用いて ろう。実はこの二例 見据えての使用であ 年」は高齢化社会を があり、強壮を意味 に先立って「丁年」 一人前の年齢を表し、 いったことが、つい

テイネン雑感

国文学科 教 授

安 田

義

明

| 辞められず、カツ丼・大福への欲 | もあって、この理想的心境にはま だまだ至らない。 が異なる「諦念」がある。煙草も 間を指すとある。もう一つ、発音

滝川駅前に降り立った瞬間、雪深 幌から滝川にやって参りました。 前の三月上旬、住まいを探しに札 い市街地の光景が眼前に広がって | として「教える」ことが私の何よ 年だったと記憶しています。五年 この冬のように非常に雪の多い

昨日のことのように という間の五年間で ます。それからあっ 鮮やかに思い出され してから今日に至る ての第一歩を踏み出 した。専任教員とし

まで、本学の発展にどれだけ寄与 | りの仕事です。一方で、学生の皆 はない、この私が常日頃なかなか

員生活で得た、実に貴重な教訓の できていないことでもありました。 ひとつではなかったかと思います。 るということ。これが五年間の教 「学生は教員自身の映し鏡」であ 言うまでもありませんが、本学

愉 学びへの切実な思い や意欲を持った学生 日々厳しさを増して が一人でもいる以上、 を取り巻く環境は、 を含む高等教育機関 います。それでも、

専攻科福祉専攻 准教授

藤

本

| は我々にあり続けるでしょうし、 思います。最後になりましたが、 それが本学の存在意義でもあると 心よりお祈り申し上げます。 皆様のさらなるご健勝とご活躍を 彼らに向き合う責務

さんから教えられることも多々 続けてきましたが、何と言うこと には口うるさく呪文のように唱え | の積み重ね」「我慢」等々、学生 | あったと思います。 「礼儀」 「日々

力ながらも何とかここまで教育活 同僚の教職員の方々が何くれとな 出しの一教員だった私のために、 しかし、右も左も分からない駆け できたか正直心もとありません。 く力となってくれたおかげで、微

二〇歳から六〇歳の

平成二十九年度

世紀研究教育計画

(第四次)始動

全体の目標に掲げています。 ブランドの確立と強化芥を法人

法人傘下校における絵國學院

とう

の進学者は二名となりました。 おりです。 **る学生に期待しています。** を基に、更に研鑽すべく進学す 一二九名、他大学は六名の合計 三五名となりました。 編入学・進学合格数は次のと 短大部で学んだ二年間の知識 また、本学専攻科福祉専攻 國學院大學編入学合格者は、 哲学科

(文学部) 《國學院大學》

日本文学科

【経済学部】

教育学科 児童教育コース七名 国文学科二十四名、幼児・児童

> · 外国語文化学科 教育学科 児童教育コース四名 総合教養学科九名、幼児·児童

幼児・児

教育学科 児童教育コース四名 国文学科十三名、幼児・児童

【法学部】 総合教養学科五名

童教育学科一名 法律学科 総合教養学科五名、

経済学科 総合教養学科十八名

> 経済ネットワーキング学科 総合教養学科十二名

【神道文化学部】 総合教養学科十二名

·神道文化学科 国文学科二名 幼児・児童教

【人間開発学部】 育学科二名

·初等教育学科 幼児・児童教育学科 児童教

健康体育学科

育コース七名

幼児・児童教育学科

育コース七名 《専攻科福祉専攻》 幼児・児童教育学科

東洋学園大学

·現代経営学部二名

経済学部 二名

東京国際大

·学商学部一名

児童教 て下さい。

育コース二名 (他大学編入学) 幼児保

国士舘大学 ン学部一名 ・グローバルコミュニケーショ

卒業生・修了生の 皆さんへのお願い

務先等の変更は必ず届け出 卒業後の住所、氏名、 勤

場合はお知らせ下さい。 勤務先・住所を変更された ※電話・電子メール等可 また、編入学先を卒業後

理念と教育の仕組みが確立して リキュラム・ポリシーに基づく ②教育課程の見直しが進み、カ 献している。

際社会での調和を目指す(地域 四次計画を立案し実行をして行 性・国際性)三つの慮いから第 構築され、学生の学修・生活指 ④学生情報の一元化システムが 導が充実している。

平成二十九年度より第四次計画

している教育・研究計画です。 年から五カ年単位で計画・推進

ぞれに目標を掲げ、行動計画に この期から計画に加わり、それ が始動し、本学を含む傘下校は、

きます。

より進めています。

國學院大學創立百二十周年を機

二十一世紀研究教育計画は、

ていく(伝統・創造)、個性を輝

に、第一次計画として平成十四

自らの生きる地域に貢献し、国 を大切にしていく(個性・共生)、 かせると同時に、社会との共生

成するプログラムを確立してい 活かせる専門知識と実践力を養 ③教育・保育指導者や、資格を

財政基盤を確立している。 携が強化され、本学の知的財産 職の総合力の向上している。 ⑥学生募集の基盤や、長期的な の活用が進んでいる。 ⑤地域の自治体や経済界との連 ⑦教育の質を保証するための教

に七つの計画の立案を行いまし 生の中核となる人材育成を目標

計画は、地域と共生し、地方創

そのなかで、本短期大学部の

なれる人材を輩出し、社会に貢 解決力を有した地域リーダーと ①社会人としての基礎力、課題 この五年の間に、七つの計画

統文化を継承し、外に学び未来

大学の建学の精神である、伝

に向かって新たな価値を創造し

学生が集まる魅力ある短期大学 はもとより、日本全国からの入 決算になる年となります。 十年目であり、 年後も、北海道内からの入学生 成三十三年度は、本学の開学四 本計画を立案し成果が実る五 この第四次計画が終了する平 本教育計画の総



来像を目指すことになります。 それぞれに行動計画を設け、 将

株式会社カルテック 株式会社プリンスホテル

【専門職】

上砂川町役場(保育士) 歌志内市役所(保育士)

湧別町役場 (保育士)

を目指していきます

就職

った結果です。 アセンターで学修した成果が実 われている就活合宿や、キャリ に一歩を踏み出します。毎年行 員決定など数多くの学生が社会 と行かないまでもかなり高い割 た学生や、専攻科福祉専攻は全 合で就職先が決まっている。 本学学生の就職状況は一〇〇% 早くは七月頃に内定が決まっ 人材不足といわれている今日、

般企業は多種にわたっています 幼稚園・保育所はもとより、 卒業生の内定先は左記のとお 就職内定先は道内外、業種は

【一般職】

芦別市役所

奈井江町役場 新十津川役場

社会福祉法人滝川社会福祉事

・シオジリプラス株式会社 旭川信用金庫

株式会社美唄未来開発センター 北いぶき農業協同組合

・株式会社あいわプリント ・株式会社オルゴール堂

株式会社ゲオホールディングス 株式会社ADESSO

株式会社マルハン

興部町立沙留小学校 滝川市役所(介護福祉士

· 倶知安町役場 (保育士)

・音威子府村役場(保育士) 社会福祉事法人 遥籃会 浦臼 町認定こども園 みどり園

札幌南清田保育園 社会福祉法人 札幌盈友福祉会

株式会社日本保育サービス

・学校法人浄光学園 認定こど ·学校法人帯広学園 · 学校法人 北広島竜谷学園

も園こころ 遠軽中央幼稚園

·宗教法人長福寺 長福寺第二 社会福祉法人札幌育児園 児

社会福祉法人 三條会 童養護施設 札幌育児園 ショナル 株式会社マミー・インターナ

・ピジョンハーツ株式会社

社会福祉法人滝川社会福祉事 業団 滝川市特別養護老人ホ ーム 緑寿園

社会福祉法人愛知福祉会 社会福祉法人 麦の子会(介 星の広場 (介護福祉士)



文芸部 部長 井 田 圭

一十四冊を売り上げました。

多い十二名が入部し、 入部者数が前年度の七名よりも で活動しました。 活動日時は火曜・木曜の六時 平成二十九年度は、新一年生 . 計十九名

くし、作品ごとに東北芸術工科 為に値段を前年度よりも百円安 よりも多くの方々に読んで貰う 回もの推敲を行い、出版・販売 締め切りに間に合い、そして四 う厳しい条件の中、部員全員が 説を書かなければいけないとい 部誌発行に向けて着々と準備を 動は行いませんでしたが、個々 に辿り着きました。また前年度 では、入学してから二ヵ月で小 してもらいました。 人での小説創作を行ってもらい から行い、長期休暇では団体活 大学・札幌大谷大学芸術学部・ 毎年六月に行うアリス祭部誌

げを十冊以上伸ばすことが出来 紙・挿絵を描いてもらうことに 在籍している方々に表紙・裏表 ました。 イナー学院といった美術学校に い登場人物や風景をつけること より、文字だけでは想像しにく によって、前年度よりも売り上

十八年度の約五倍の冊数である 段・挿絵・ページ数といった要 発行することにより、内容・値 冊程度しか売れなかったという 同様参加しました。二十八年度 素を引き上げる事に成功し、二 素に、アリス祭部誌の改訂版を 述で書いた値段・デザインの要 反省点から、二十九年度では前 ス祭の部誌を売ったのですが五 に参加した際は、その年のアリ フリマ、通称「文フリ」に昨年 テレビ塔で開催される札幌文学 七月には二十八年度より札幌 発行するまでに、

を書いています。またこの本を 沿った内容の小説を書くという た学生たちがそれに沿って小説 それぞれの時間に振り分けられ 時の人は十三時に関する小説を は「時間指定」(例として一時の ことを行っており、三十年度で それぞれの学生がそのテーマに 合同部誌では本のテーマを絞り、 院短大文芸部と北海学園大学さ …)というテーマで行っており、 人は一時に関する小説を、十三 んとの合同部誌についてです。

祐 とになりました。大きな活動と う目的を持った活動を始めるこ 文芸創作する人の手助け」とい 海道の文芸創作を盛り上げる・ を発足し、「大学同士での連携 会「北海道文学交流会~北國~」 しては三十年度に発行する國學 した文芸創作活動の活発化・北 しては、北海学園大学文学部一・ 一部田中ゼミ・文学会との交流 文フリが終わった後の活動と

一やることが出来て良かったです。 出来なかった一年生のみの発行 で発行することが出来ています。 作品「年部末部誌」を一年生のみ 私事ではありますが、部長を 十二月では二十八年度に発行

北海学園大学



での交流を深め、互いに切磋琢 よる講義などを行い、大学同士 北海学園大学文学部田中先生に 校内での話し合いや作品合評会

磨出来る環境を作りあげていま

寒中禊に参加して 神社まつり研究会 部長

松

井

佑 亮

社やお祭りの映像を鑑賞してい 今年発足したサークルで、週に ました。 度日本全国津々浦々にある神 私たち神社まつり研究会は、



の行われた江部乙神社の神輿渡 また、学外活動では九月七日

させていただきました。特に寒 奪われるのが分かるほどでした るごとに被るごとに身体の熱が 禊の水は想像以上に冷たく、被 つで水を二十杯被りましたが、 八日に行われた寒中禊に御奉仕 海道神宮の境内清掃、一月二十 積極的に参加していこうと思い つ神社の祭礼や境内清掃などを からは、各地の神社をめぐりつ 短の有志の協力により実現する 画をして下さった森准教授や國 の有志が大崎八幡宮の社頭奉仕 のした。また、正月には、國短 満ちた顔は、とても意味深いも が、禊が終わった後の達成感に 中禊は、雪が降りしきる中褌一 ことが出来ました。 に行ってきました。これも、企 ありがとうございます。これ 十月二十九日に行われた北

学生会活動報告

明星大学デザイン学・札幌デザ

学生会総務委員長 吉 田 敏

生

國短雪まつりの運営を行いまし イバル、学生会企画行事として でアリス祭とスポーツフェステ 私たち学生会は、学生会活動

全日程が終了したときの達成感 るからこその楽しさや充実感、 運営側とゆうこともあり、アリ は何とも言えないものでした。 はできませんでしたが、運営す ス祭の催しをすべて楽しむこと 輩達と行う唯一の活動でした。 六月に行われたアリス祭は先

ただいた際にはライブをおこな んはゲストとしてお越ししてい misono さんです。 花火は友達 当日を通じて先輩たちとの交流 思い出深いものとなりました。 を深め、新しい友達もでき最も のをながめました。 misono さ や先輩と共に打ち上げられたも トとしてお越しいただいた た花火とアリス祭二日目にゲス は、前日準備日に打ち上げられ 催しの中で思い出に残ったもの また、準備期間や、アリス祭

> たためとてもいい経験となりま 能人を見る機会が今までなかっ っていただきました。間近で芸

参加者からは、 たが、どうにかスポーツフェス 交流を深める目的でおこないま ティバルは、一年生と二年生の ティバルを終えました。しかし、 反省を多く残す結果となりまし 上手くいかないことが多々あり、 いくうえで分からないことや、 だけで行事の運営をおこなって た。そのため、初めて自分たち てから初めての活動となりまし した。この行事は、代変わりし 十月に行ったスポーツフェス 「楽しかったよ、

もあり、やってよかったと思え またやってほしい。」などの声 ました。

次年度の活動へと活かしていき を目的としておこないました。 さんに雪を楽しんでもらうこと として行いました。参加者の皆 上手くいかない点もあったので た運営を心掛けたが、まだまだ スティバルからの反省を活かし いただけました。スポーツフェ て参加者の皆さんには楽しんで 昼食の配布や行った競技におい を中止になってしまいましたが 悪天候の影響により一部競技 毎年行っている学生会企画行事 二月に行った國短雪まつりは

前年度と同様にアリス祭、スポ たいです。 ーツフェスティバル、学生会企 営の大変さなど多くのことを学 画の運営を行っていきます。 びました。次年の活動としては 生会としての在り方や、行事運 間と活動は短かったですが、学 もあり、先輩達と共に行った期 この一年間、短大とゆうこと

う学生会

一同、

尽力を

つくして により良い行事運営を行えるよ え、新しく加わる新入生ととも れてきた反省点や改善点を踏ま 今までの活動を通じてあげら